

いずぬま

有限会社 伊豆沼農産

— 地域一体型の持続可能な「農村産業」を創造 —



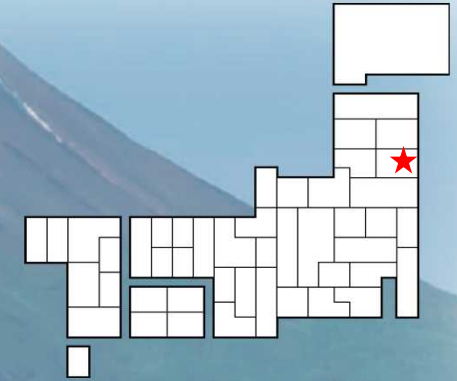
インバウンド受け入れの一場面

ビジネス部門

輸出

高齢者の活躍

その他（都市農村交流）



とめ
所在地：宮城県 登米市

12



地域の食文化を伝える冊子の発刊

概要

- 米と豚肉の自社食材を活用した加工施設やレストラン、直売所を開設し、創業時より6次産業化に取り組む。
- 若いUターン女性社員が取締役となり、地域の高齢者を牽引し、食や農について学ぶ体験プログラムを開発。

成果

- 直売所やレストランへの来店者は約9.6万人から約15.2万人に増加（H26～H30）し、売上は約1.5億円（H30）。
- 売上の増加等により、当初5名のパート雇用がH30年度には35名まで増加。



2004年から香港輸出開始

株式会社 やまがたさくらんぼファーム



— もったいないを観光と6次産業化で解決！ —



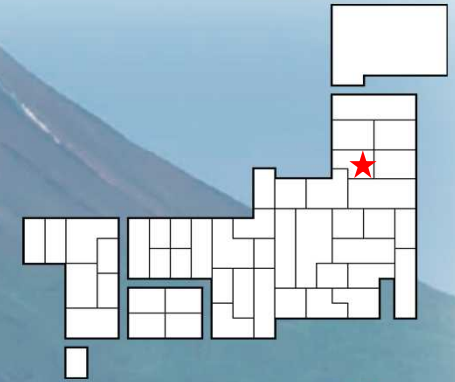
朝摘みさくらんぼツアーの様子

ビジネス部門

農泊

農林漁業、農村文化体験

6次産業化



所在地：山形県 てんどう 天童市

概要

- 地域の温泉と連携し「朝摘みさくらんぼツアー」を商品化。また、地域協議会、旅行会社と連携し農作業体験ツアーを実施。
- 地域の加工業者やデザイナーと連携し、さくらんぼなどを使用した加工品を開発し、直売所とカフェを開設。

成果

- 直営カフェの売上は、約150万円から約1,500万円へ増加。
(H27~H30)
- さくらんぼ狩り入園者数は年間約2.3万人 (H30)。
- 農作業体験ツアーにより、さくらんぼ収穫の労働力を確保するとともに、ツアー後に直接雇用の例も。



さくらんぼシーズンにスタッフと



直営カフェの商品

東北農政局 ディスカバー

むら の たから

農山漁村の宝



お問合せ先

東北農政局 農村振興部 農村計画課 (TEL)022-261-6734
(FAX)022-216-4287
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 (仙台合同庁舎)

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ

[URL]<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html>

